



燕市立 吉田小学校

学校データ

【学級数】19学級

【児童生徒数】399人

【地域コーディネーターの有無】有

地域に愛着をもつ児童の育成～系統的・横断的なカリキュラムをとおして～

1 はじめに

吉田小学校は、創立148年を数える伝統校である。校区である吉田地区は近隣を流れる西川を中心に物産の集積地として発達した地域であり、弥彦・三条・新潟・長岡・柏崎方面に通ずる交通の要衝地である。また、吉田駅を中心に商店街や工場があり、古くから地域の生活や経済を支えてきた。地域住民の学校に対する期待感や関心度は高く、学校の取組に大変協力的である。

一方で、工業団地の形成に併せて、新たな宅地も多く造成され、共働きの家庭や核家族が増加傾向にある。また、それに伴い保護者の価値観も多様化し、地域と関わる経験が少ない児童も増えてきた。

現在、吉田小学校の子どもたちのために積極的にボランティア活動をしてくれる地域教育協議会と連携を図りながら、地域に愛着をもつ子どもの育成を目指し、地域教育プログラムの実践を重ねている。

2 取組の実際

(1) 2年間で系統的に学ぶカリキュラム

2年生生活科の野菜栽培と3年生の総合的な学習の時間で扱う地域学習を「食育」の観点から系統的に位置付け、体験活動を大切にした2年間の学習カリキュラムを以下のとおり編成した。

2年生の生活科

【活動の目的】

大豆の栽培を通して、吉田地区で農業に携わる人々の努力や思いに触れる。

【活動の概要】

- ・6月に地域の農家の方を講師に招き、畑に大豆の種を蒔く。
- ・夏から秋にかけて、大豆の世話や成長の観察を行う。
- ・農家の方の指導のもと、11月に大豆の収穫を行い、その後、地元の味噌蔵の方を講師に迎え、塩や麴と一緒に味噌樽を仕込む。



3年生の総合的な学習の時間

【活動の目的】

味噌醸造をとおして製造や販売のための努力や工夫、地元の味噌の魅力について学ぶ。

【活動の概要】

- ・7月に、地域の味噌工場で仕込んだ味噌の天地返しを行うとともに、味噌蔵の見学を行い、職人の方から伝統の味を守るための苦労や、新たな商品開発のための努力等を知る。
- ・11月に、2年間の学習に関わった地域の方を招いて発表会を行う。さらに、完成した味噌を特産品である「本町きゅうり」に付けて試食をする。

(2) 教科横断的に学ぶカリキュラム

本学習と3年生の国語科・社会科を以下のとおり横断的に結び付け、それぞれの教科の目標が達成できるようにした。

《国語科》

大豆栽培や味噌づくり体験を想起させながら説明文を読み深める学習を進めることで、段落相互のつながりを映像的にとらえたり、作者が読者に伝えたい思いを理解したりする。

《社会科》

味噌工場を題材にして、仕事の工程や販売の仕方、消費者のニーズに応じて商品を開発、生産することなど、生産や販売のしくみについて理解する。

(3) 地域の教育力を活用した学習

本学習は、大豆栽培の講師を務めてくださる地元農家の方々、味噌の仕込みから貯蔵管理まで指導・協力してくださる味噌会社（越後味噌醸造）など、多くの地域人材の協力を得ている。

また、大豆の種まきや収穫、味噌樽仕込み、天地返し等、様々な活動場面で、吉田小学校地域教育協議会に所属する学習ボランティアの方々毎回十数名程度駆け付けてくださり、児童の活動を温かく支援していただいている。児童は毎回、地元ボランティアの方々と自然にコミュニケーションをとりながら学習している。

3 成果と課題

及び本実践で育成された資質・能力

児童は、本学習をとおり、長いスパンでしか学ぶことのできない貴重な体験をすることができた。さらに、様々な活動場面で地域の教育力を活用したことで、多くの地元の方と触れ合い、人の温かさや感謝の心を学ぶこともできた。

併せて、地域で働く様々な業種の人々

と関わることで、仕事に対する苦勞や努力、地域を盛り上げようとする思いに気付くことができ、地元への愛着心が自然に芽生え始めてきたと考えている。今後、このことが素地となり、地元のためにできることを実践しようとする行動力等につながっていくことを期待しているところである。

課題としては、長期で取り組む活動であるため、児童の課題意識が継続しにくいこと、活動が先行してしまい児童の主体性が引き出されにくいという点がある。今後、指導計画を見直し、精選と重点化を図る必要があると考えている。

4 おわりに

当校は平成24年に地域の方々による学校支援活動が充実していることから、文部科学大臣表彰を受けている。

紹介した取組は、10年以上かけて築き上げてきた学校と地域の協働体制があるからこそ成立しているものと思っている。子どもたちのために、今後もこの体制を維持発展できるよう努めていきたい。